

令和 6 年 2 月 5 日

教 育 長 様

代表者	校 園 名 :	大阪市立西中島幼稚園
	校 園 長 名 :	横 田 ゆかり
	電 話 :	6301-4772
	事 務 職 員 名 :	至 田 直之
申請者	校 園 名 :	大阪市立西中島幼稚園
	職 名 ・ 名 前 :	園 長 横 田 ゆかり
	電 話 :	6572-0603

研究コース	
A グループ研究A	
校 園 コード (代 表 者 校 園 の 市 費 コード)	
645390	
選定番号	103

令和5年度 「がんばる先生支援」研究支援 報告書

◇令和5年度「がんばる先生支援」研究支援について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	A グループ研究A	研究年数	新規研究 (1年目)				
2	研究テーマ	心を動かす体験を通して、伸び伸びと自分を表現することを楽しむ —音との出会いの中で—							
3	研究目的	<p>近年の子どもたちは、多くの情報に囲まれた環境にいるため、知識は増えているが、その知識は断片的で受け身なものが多いため、学びへの意欲や関心が低いといった課題がある。そこで、大阪市教育振興基本計画の施策推進の基本的方向の一つである「幼児教育の推進と質の向上」を基に、幼児が身近な環境に興味や関心をもち、主体的に関わり、豊かな実体験を積み重ね、伸び伸びと自分を表現する力が育まれるよう、研究に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 就学前教育カリキュラムを基に、幼児期の終わりまでに育てほしい姿「豊かな感性と表現」に視点をあてた学びの検証</li> <li>2 音楽に関わる活動を通して、幼児が心を動かし、様々なことを感じられる保育内容の検討や教材研究</li> <li>3 伸び伸びと自分を表現することを楽しむ幼児の育成</li> <li>4 幼児の育ちに視点をあてた実践記録や研究討議による教員の指導力向上</li> <li>5 音楽に関する研究に取り組み、近畿音楽研究大会で公開保育を実施し、大阪市および近畿全体へ発信</li> </ol>							
4	取り組んだ研究内容	<p>いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。(MSJシック 9.5※イント)</p> <p>幼児が音や音楽との関わりの中で、伸び伸びと自分を表現することを楽しめるよう、1年間、実践研究に取り組んだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 幼児の実態把握を把握し、研究テーマの共通理解を図って研究を進めたことで、伸び伸びと自分を表現する幼児を育成した。</li> <li>② 大阪市就学前カリキュラムを活用し、幼児の育ちの見通しや教育的意図をもった働きかけを分析したことで、教員の指導力向上につなげた。</li> <li>③ 保護者や地域へ研究の取組について発信した。</li> <li>④ 公開保育を実施し、研究の成果を発信した。</li> </ol> <p>①②③④が達成できるように、下記の通り取り組んだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2週間に1回の実践検討会実施 幼児を多面的に捉え、全教職員が連携した援助ができるように、音や音楽との関わりの中で、伸び伸びと自分を表現する幼児の姿についての討議会を行った。</li> <li>(2) 年8回の園内研究会・研修会を実施 幼児の育ちの見通しをもつことや一人一人に応じた教育的意図をもった働きかけができるように、6月、9月、10月(2回)、11月、2月に研究保育・討議会、5月、10月に音楽で遊ぼう会を実施した。討議会では外部の先生の指導助言を受け、幼児が音や音楽を通して表現する力について学ぶことができ、保育実践につながった。</li> <li>(3) 幼児が音や音楽に親しめる保育内容や環境の工夫 ・ 幼児が音や音楽に興味や関心をもち活動が楽しめるように、教材研究をつた。幼児が扱いやすく、主体的に音や音楽が楽しめるような楽器を新たに購入したり、身近な素材を使ってつくったりした。また、楽器を鳴らしたり、曲に合わせて踊ったりなど、存分に活動を楽しめるような部屋をつくった。</li> <li>(4) 近畿音楽教育研究大会大阪大会で公開保育を実施 11月10日に、大阪市内・近畿全体の学校園に公開保育を実施し、研究の成果を発表し、大阪市立幼稚園の教育を発信した。公開保育当日に配付した資料は、事前に作成検討会を何度も行って作成し、教員の資質向上につながった。</li> </ol> <p>公開保育当日の参加者向けのアンケートでは、肯定的な回答が100%であった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(5) 保護者や地域への発信 保護者や地域に幼稚園教育を発信できるように、月2回、幼児が音や音楽にかかわって遊んでいる様子をホームページに掲載したり、写真と幼児の育ちについて指導者がコメントを記入したものを掲示したりした。学校協議会では、研究の目的、取組状況、成果を、映像を通して発信した。学校協議委員からは「幼児が主体的に活動できる力が育まれている」といった肯定的な意見が100%であった。</li> </ol>							
5	研究発表等の日程・場所・参加者数	<p>《検証方法》</p> <table border="1"> <tr> <td>)</td> <td>令和 5 年 11 月 10 日</td> <td>参加者数</td> <td>約 70 名</td> </tr> </table> <p>《検証方法》西中島幼稚園</p> <p>備考</p>				)	令和 5 年 11 月 10 日	参加者数	約 70 名
)	令和 5 年 11 月 10 日	参加者数	約 70 名						

6	成果・課題	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<b>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</b>および<b>教員の資質や指導力の向上</b>について、申請書に記載した検証方法から得られた結果と、それらからの結果に基づいた考察を、具体的に記載してください。</p>
		<p><b>【見込まれる成果1】</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上  <input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>幼児が身近な環境に主体的に関わり、自分を伸び伸びと表現することを楽しむようになる。</p> <p>《検証方法》  保護者アンケートの「子どもは、意欲的に身近な環境に関わり、自分なりに表現することを楽しんでいて感じますか」の項目で、肯定的な回答の割合を80パーセント以上にする。</p>
		<p>[検証結果と考察]</p> <p>保護者アンケートの「子どもは、意欲的に身近な環境に関わり、自分なりに表現することを楽しんでいて感じますか」の項目で、肯定的な回答の割合は95パーセントであったため、概ね目標が達成できたと思われる。1学期はいろいろな経験をする、2学期は目的をもって遊ぶ、3学期は主体的に遊ぶことができるように環境を整えたことで、子どもは、自分を表現しながら、自分たちで遊びを進めるようになった。</p>
		<p><b>【見込まれる成果2】</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上  <input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>幼児は音楽に親しみ、「心地よい」「楽しい」「面白い」と感じながら、音楽に関わる活動を楽しむようになる。</p> <p>《検証方法》  保護者アンケートの「子どもは、音楽に親しみをもち、音楽に関わる活動を楽しんでいると感じますか」の項目で、肯定的な回答の割合を80パーセント以上にする。</p>
		<p>[検証結果と考察]</p> <p>保護者アンケートの「子どもは、音楽に親しみをもち、音楽に関わる活動を楽しんでいると感じますか」の項目で、肯定的な回答の割合は98パーセントであったため、概ね目標が達成できたと思われる。「音楽で遊ぶ会」の行事を初めて取り入れたり、園内環境を見直し、音や音楽に存分に関わることができる保育室をつくったりしたことで、幼児は存分に音や音楽に関わる活動を楽しんでいた。</p>
<p><b>【見込まれる成果3】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上  <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>教師が就学前教育カリキュラムを活用し、教材研究、研究討議、実践記録の分析を行うことで、環境や教師の教育的意図をもった働きかけを工夫することができる。</p> <p>《検証方法》  保護者アンケートの「幼稚園は、子どもの興味や関心を高めるような指導を行っていますか」の項目で、肯定的な回答の割合を80パーセント以上にする。</p>		
<p>[検証結果と考察]</p> <p>保護者アンケートの「幼稚園は、子どもの興味や関心を高めるような指導を行っていますか」の項目で、肯定的な回答の割合は98パーセントであったため、概ね目標が達成できたと思われる。2週間に1回の実践検討会を行い、子どもの興味や関心について意見交換し、教材研究や環境構成の工夫につなげることができた。</p>		

6	成果・課題	<p><b>【見込まれる成果4】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>研究保育や外部講師から指導により、教員の指導力向上につながる。また、公開保育参加者に、実践内容を広く発信できる。</p> <p>《検証方法》</p> <p>教員への聞き取りで、実践研究が充実し、指導力の向上につながったと成果を感じたと答える割合を90%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>教員への聞き取りで、実践研究が充実し、指導力の向上につながったと成果を感じたと答える割合を90%以上にする。1年間、研究に取り組み、研究保育や公開保育を通して、教材研究を深める、環境を工夫する、外部講師の助言を聞いて実践につなげるなど、教員の資質向上につながった。</p>
---	-------	--

<b>【研究全体を通じた成果と課題】</b> 研究発表会等で使用した資料や研究冊子から引用し、端的に記述してください。	
	<p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>成果…いつでも音や音楽に関わることができる教材や環境を整えたことで、子どもは音や音楽に興味や関心を持ち、遊びに取り入れ、自分を伸び伸び表現することを楽しむようになった。教職員は、子どもの興味や関心に合った教材研究を深め、遊びを楽しめる環境の工夫を意欲的に行うことができた。 課題…子どもが更に自分を伸び伸び表現しながら、友達と一緒に表現することを楽しめるような保育実践を工夫する。</p>
	<p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p>
	<p>3. 継続研究（3年目）</p>
<b>《代表校園長の総評》</b>	
	<p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>昨年度の就学前教育カリキュラムパイロット園研究から分かった課題を明確にし、研究テーマを設定した。教職員間で話し合う機会を多くもったことで、研究について共通理解し、進めることができた。1学期に子どもが音や音楽に触れる経験を多くもったことで、2学期以降は、子ども自身が意欲的に音や音楽に関わるようになり、次第に自分を伸び伸びと表現し楽しむようになった。保護者や地域の方からも、子どもが主体的であってよいという声も聞かれ、研究の成果があったと考える。今後も成果と課題を踏まえ、教育活動の充実に努めていきたい。</p>
	<p>3. 継続研究（3年目）</p>